

# 第86回富山眼科集談会

-ハイブリッド開催- (現地+Web)

日時 令和4年11月23日(水・祝)13:30~16:20

場所 富山県民会館 7F (701号室・707号室)

〒930-0006 富山市新総曲輪4番18号 Tel:076-432-3111

(連絡先)富山眼科集談会事務局 富山大学医学部眼科学教室

〒930-0194 富山市杉谷 2630 Tel:076-434-7363 Fax:076-434-5037

E-Mail: ophthal@med.u-toyama.ac.jp

1. 一般講演(発表7分、討論5分)です。
2. 今回はコロナ感染防止のため、会場参加とWeb参加のハイブリッド開催といたします。  
今後の感染状況を踏まえ、会場にお越しただいての参加者は、富山県在住者のみ、とさせていただきます。
3. 【Web参加者について】  
ご自宅等でWebで参加する場合は、Zoom(オンライン)を使用しての参加となります。Zoom参加される方は、事前に下記QRコード・URLより参加申し込みをお願いいたします。お申込み不可の方は ophthal@med.u-toyama.ac.jp までお申し込みください。  
申込 URL <https://forms.gle/xY4cdcwG85Hfe4sU8>  
Zoom 申込期間は、開始:11/11(金)~終了:11/18(金)17:00 までです。
4. 【Web申込必要事項】  
①氏名、②フリガナ、③所属、④専門医番号(会員ID6桁)をご記入ください。  
申込期間終了後にWeb(Zoom)申込者には、ID、パスワードをメール送信いたします。
5. 【会場費について】全て、振込みとさせていただきますのでご了承ください。  
会場参加者は、振込先は当日会場にてご案内いたします。Web参加者は、ID、パスワード等のメール送信の際に振込情報をご案内いたします。  
参加費は3,000円です。(会員は無料です)
6. 本会は日本眼科学会専門医制度生涯教育事業(No.59056)です。
7. 【取得単位】会場参加者は1単位、Web参加者は0.5単位を取得できます。  
Web参加者は、視聴の確認が取れた場合に単位を付与されます。(短時間の視聴の場合は認められませんのでご了承ください)
8. 本会は日本医師会生涯教育制度における1単位(9)カリキュラムコードを取得することができます。



コロナ感染防止のため、広い会場を用意しています。

会場に参加される場合は全員マスクの着用をお願いします。

次の第87回富山眼科集談会は令和5年6月11日(日)富山県民会館の予定です。

主催 富山眼科集談会

## 一般講演

13:30 ~ 14:06 (座長) 柚木 達也 (富山大)

### 1. 3焦点眼内挿入眼における各高次収差成分の予測

三田哲大、伊井 彩、山崎 舞、関 祐介、柴田奈央子、渋谷恵理、柴田哲平、  
水戸 毅、久保江理、佐々木 洋 (金沢医大)

### 2. サイトメガロウイルス角膜内皮炎における続発緑内障の臨床的特徴

森 和也、横川英明、小林 颯、西野 翼、森奈津子、竹本裕子、杉山和久 (金沢大)

### 3. リパズジルおよびラタノプロスト点眼後の上強膜静脈における房水カラムの変化

田中健悟、鈴木万理恵、折井 佑介、鈴木陽平、小森涼平、有村尚悟、  
岩崎健太郎、高村佳弘、稲谷 大 (福井大)

14:06 ~ 14:42 (座長) 柳沢 秀一郎 (富山大)

### 4. 他の抗 VEGF 薬からファリシマブに切り替えた加齢黄斑変性症例の検討

植田芳樹、渡辺裕士、橋本義弘、笹島裕史、石田秀俊、鈴木貴文  
(真生会富山病院 アイセンター)

### 5. プロルシズマブ眼内炎症後の臨床経過

大滝 亮、コンサルボ上田朋子、赤井亮太、山崎仁史、大塚光哉、宮腰晃央、  
柚木達也、柳沢秀一郎、林篤志 (富山大)

### 6. 黄斑前膜様の所見を呈する巨大内境界膜裂孔の臨床的特徴

加藤 剛、福島正樹、本多祐樹 (高岡市民病院 眼科)

14:42 ~ 15:20 休憩

## 特別講演

15:20 ~ 16:20 (座長) はやし あつし 林 篤志 (富山大)

---

### 【会場でのご講演】

#### 『網膜イメージングの進歩』

いとう やすき 伊藤 逸毅 先生 (藤田医科大学医学部眼科学 教授)

眼底撮影の技術は眼底カメラが長らく唯一のものであったが、1980年代に点光源を動かして眼底を撮影する走査レーザー検眼鏡 (SLO) が登場して劇的な進歩が始まった。点光源を使う光学系には、小瞳孔で撮影可能、ターゲットの層以外からの光をブロックできる、など多くのメリットがあり、その後超広角眼底撮影装置、補償光学 SLO (AO-SLO) の開発にもつながっていく。この点光源イメージングの代表的なものは光干渉断層計 (OCT) であり、1996年の初代の time-domain OCT 市販機の登場から始まり、spectral-domain、swept-source OCT、のハードウェアの進歩、眼底トラッキングや最近では OCT angiography などのソフトウェアの進歩により飛躍的に進歩した。

本講演ではこれらの網膜イメージングのいろいろを OCT の読影を中心に概説します。

#### 略歴

- 1992年 名古屋大学医学部卒業
- 1997年 名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了
- 1997年 公立学校共済組合東海中央病院眼科医長
- 1999年 名古屋大学医学部眼科助手
- 1999年 Wayne State 大学 (USA) 研究員
- 2003年 名古屋大学医学部附属病院眼科講師
- 2006年 名古屋大学大学院医学系研究科眼科特任助教授
- 2011年 名古屋大学大学院医学系研究科眼科助教授 (現准教授)
- 2021年 藤田医科大学眼科教授